

# 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：平成30年11月29日

保護者アンケート回収率72.22% / 下記の保護者評価は回収分での占める割合

事業所名：放課後等デイサービスなえどこ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	制度上は十分に確保されていますが、利用状況に照らして工夫して使用する必要があり、職員同士で位置取りを話し合い、それぞれが課題に取り組みやすいよう気をつけています。	はい：76.92% わからない：23.08% ★毎月のお便りの様子から活動しやすい広さと環境に整えられたのが分かります。 ★実際に見ていないので何とも言えません。 ★No.2に同じ	時折送迎などで来訪される際には部屋まで積極的にご案内し、実際にご覧いただく機会を増やします。また、通信やWebに写真を掲載したいと思います。
	2 職員の適切な配置	基準以上の人数で取り組んでいます。重心児の方も多く幅広く受け入れているので、これまで職員間でチームを組んだり日替わりの担当制にしたりと、目が行き届くようにしています。	はい：69.23% わからない：30.77% ★パソコンやインターネットをしていないので、動画では見られない。プリント配布されるのでそれを見るだけでははっきりとしたことが分からない。	No.1と同様、伝わるための手段を推し進めていきたいと思います。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	元々の用途が違う建物なので、完全なバリアフリーではないですが、連携によりエレベーターや身障者用トイレを使用できるよう、ニーズに応えるようにしています。	はい：53.85% わからない：46.15% ★No.2に同じ	「わからない」という評価が多いことをうけ、No.1と同様、伝わるための手段を推し進めていきたいと思います。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	これまでも適宜掃除や消毒は随時行っていました。最近の取り組みとして、玄関・廊下を含めた事業所内全般の清掃と、使用した療育玩具等の消毒を毎日行うようにしています。	はい：53.85% わからない：46.15% ★No.2に同じ	「わからない」という評価が多いことをうけ、No.1と同様、伝わるための手段を推し進めていきたいと思います。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の打ち合わせでの情報共有や、ヒヤリハット・事故報告の活用等により、特にサービス提供に関しては継続的に行っています。		サービス提供以外の業務についても、取り組んでいきたいと思っています。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在のところ、実施しておりません。		時期を検討しているところです。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修の機会がサービス提供と重なることが多く、調整が可能な限りの範囲内での受講となっています。		法人グループ内で行う研修の活用も視野に、勤務調整も含めて、可能な限り研修受講を促進していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	「個人票」という形でアセスメント情報を保護者から収集し、日々の活動の様子を見たり、直接処遇職員の作成する「課題の整理表」や意見を参考に、計画を作成しています。	【設問1】 はい : 84.62% どちらともいえない : 7.69% わからない : 7.69%	ほとんどの方に「はい」の回答をいただいているので、この方針で続けていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	児発管の作成する一人ひとりの計画案を、直接処遇職員も全員で、確認と意見交換を行う会議の機会を設けています。	【設問2、設問3】 はい : 92.31% わからない : 7.69%	ほとんどの方に「はい」の回答をいただいているので、この方針で続けていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	課題の整理表を用いて、支援の目標に沿った課題や手立てを検討した上で具体的な支援内容を設定し、個別支援計画にはもちろん、日々の経過記録にも毎回明記しています。		ほとんどの方に「はい」の回答をいただいているので、この方針で続けていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	会議を経て作成された計画で設定している目標を、毎回の記録用紙に記載して、それを念頭に支援を行っています。	はい : 92.31% わからない : 7.69%	毎回の振り返りの中で、支援そのものの評価も大切にしながら、計画に沿った有効な支援を意識するよう心がけます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	季節行事についてはチームで立案しています。日々の支援内容については、直接処遇職員を固定せず日ごとに組み合わせを変えているので、それぞれの視点をもった上で行う意見交換をもとに、組み立てています。		今後も活動プログラムが固定化しないよう、この方針で続けていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	開校日と休業日でタイムテーブルは別になっています。また天候や利用状況によって随時打ち合わせを行い、それに合わせて支援内容を変更することもあります。	はい : 92.31% わからない : 7.69%	今後も活動プログラムが固定化しないよう、この方針で続けていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎回受け持ち担当が変わり、担当自身でプログラム内容を考えることで、固定した活動にならないようにしています。また集団活動では、運動・音楽・創作を週ごとに変えて取り組んでいます。		ほとんどの方に「はい」の回答をいただいているので、この方針で続けていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	月初に決められた役割分担の確認を毎回行っています。また、支援内容については、サービス提供前に個々の職員間で支援内容の確認・相談を必要に応じて行っています。		各職員の動きや利用者の動きが見えるよう、利用者一人一人に対してその日はどんな支援をするのかという内容についても、情報共有を図っていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	学校開校日は、当日中の時間の確保が困難なため、翌日の打ち合わせの際に毎回振り返りと、他職員や児発管から気付いた点の共有を行っています。長期休暇時は、当日に行っています。		今後も欠かさず続けていきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	各担当職員が作成した記録を児発管が確認して不明瞭な点を訂正し、正確な記録を残すようにしています。		現在の取り組みを軸に、今後の課題に繋がる視点も意識しながら続けていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリングとしての設定ではありませんが、送迎時や個別支援計画の説明時に、家庭状況を聞き取ったり、直接処遇職員との情報共有や、記録の振り返り、本人の日々の様子観察から、見直しを行っています。		今後もこの方針で続けていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	基本的に児発管が参画しています。		各児童に直接処遇職員を担当として割り振り、実際に関わりの深い職員が、児発管とともに参加できるように目指していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	特に看護師・PT・OTについて、法人グループ内の近隣の医療機関や他事業所等と、必要に応じて連携がとれるようになっています。		これまでの取り組みに加えて、まずは、児童が毎日通っている学校との連携の強化を目指していきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	主治医の意見書や医療機関の連絡先等の情報は、保護者を通して得ています。 法人グループ内の協力医療機関への緊急時の連絡体制は、第3段階まで確保しています。		安心できる連携体制づくりを念頭に、今後も努めていきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業所からの移行支援という観点での対象となる児童は現在在籍していないので、行っていません。		現在の状態だけでなく、必要に応じて、過去の情報を踏まえた支援も視野に入れるよう、検討していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	昨年度は対象者が3名のうち1名についてのみ実施しました。		必要に応じて情報提供ができるよう、準備をすすめていきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	養護学校主催の研修受講や、知らせを受けた研修には受講を促進していますが、研修の情報自体があまり入ってきていないのが現状です。		積極的に研修開催の調査をすすめ、更なる資質向上を目指していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	行っていません。	はい : 0% どちらともいえない : 23.08% いいえ : 7.69% わからない : 69.23%	保護者用アンケートの追加設問を踏まえ、ニーズを視野に入れながら、長期的に検討したいと思います。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	法人グループ内の近隣の高齢者施設との交流はありますが、地域住民へのアプローチは行っていません。		長期的にニーズを視野に入れながら、地域の方との関わりをもちやすい資源を調べて活用したいと思います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項説明書をもとに内容を説明し、また利用者負担については負担上限金額の説明と実費負担分を分けて説明しています。	はい : 92.31% わからない : 7.69%	ほとんどの方に「はい」の回答をいただいているので、この方向で続けていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画の作成や更新の際に、児発管から本人と保護者に説明を行っています。	はい : 92.31% わからない : 7.69%	ほとんどの方に「はい」の回答をいただいているので、この方向で続けていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	毎回利用の際にやり取りする連絡帳で、成果のあったことを記載することもあります。積極的な発信にまでは至っていません。	はい : 30.77% どちらともいえない : 7.69% いいえ : 30.77% わからない : 30.77%	連絡帳以外に、送迎時や支援計画の説明時など、直接お会いする機会にも、成果の報告等、積極的な発信を心がけてまいります。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時にその日の報告を行ったり、支援計画の説明時に課題などについて話すことで、共通理解につとめています。	はい : 76.92% どちらともいえない : 15.38% いいえ : 0% わからない : 7.69%	今後も積極的な発信を心がけていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	定期的な保護者との面談は行っていませんが、悩み相談があった場合は、誠意をもって対応しています。	はい : 53.85% どちらともいえない : 15.38% いいえ : 15.38% わからない : 15.38%	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現状としては、実施していません。	いいえ : 53.85% わからない : 46.15%	長期的な視野で、時機を見て保護者の方々のニーズを視野に入れた上で、検討したいと思います。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に、当事業所だけでなく行政機関も含めた苦情窓口を案内しています。今のところ大きなトラブルはなく、何かあった場合にはその日のうちに対応を検討して早期解決につとめています。	はい : 53.85% どちらともいえない : 7.69% いいえ : 7.69% わからない : 30.77%	「わからない」という評価が比較的多いことをうけ、まずは苦情窓口を分かりやすく周知できるよう、お知らせしたいと思います。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	サービス提供では、言葉だけでなく絵やサイン等の視覚支援を通して意思疎通を図っています。保護者の方々へは、直接お会いできない方へも連絡帳や文書・電話等で情報伝達を図っています。	はい : 76.92% どちらともいえない : 7.69% いいえ : 7.69% わからない : 7.69%	多くの方に「はい」の回答をいただいているので、当面この方向で続けていきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	今年度は毎月1回、通信として会報を発行し、情報を発信しております。	はい : 92.31% わからない : 7.69%	毎月1回の通信以外に、不定期ですがブログを再開し、情報を発信していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	事業所・書庫・建物全体の施錠に加え、取り扱いについては書面での同意を確認しています。写真の取り扱いについても事前に同意を得て確認しています。	はい : 92.31% わからない : 7.69%	ほとんどの方に「はい」の回答をいただいていることも踏まえ、この方向で続けていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル、火災対応マニュアル、防犯マニュアルについては完成し、職員への周知はしていますが、保護者への発信ができておりません。 感染症対応マニュアルは現在策定中です。	はい : 69.23% どちらともいえない : 7.69% わからない : 23.08%	感染症対応マニュアルについては、優先度の高いものから順次完成予定です。 保護者への周知について、他のマニュアルも含めて、事業所で閲覧できるよう掲示すると共に、ご希望の方には配布させていただきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	前回の自己評価を踏まえて、曜日により顔ぶれが異なるので、1回の避難訓練を、一日だけではなく、避難訓練の週として全曜日に行っています。 年度内に3回の実施を目指して1回行いましたが、残り2回は現在時期を検討中です。 また、火災だけでなく様々なジャンルの避難訓練も行っていきます。	はい : 92.31% わからない : 7.69%	通信で発信しているため殆どの方から「はい」との回答をいただいていますので、当初の方向性を推し進めていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	10月開催の虐待対応力向上研修へ1名が参加し、後日事業所内で伝達研修を行う予定です。		職員の中に過去に他事業所で虐待対策委員会に所属していた者もあり、事業所内研修として、伝達研修にあわせて、内容の濃い研修の機会を設ける予定です。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	会議にて確認・検討した上で、計画に身体拘束の旨を記載し、保護者に説明、同意を得ています。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現状は保護者からの聞き取りのみ行っています。その中には、医師から止められているケースと、医師からは止められている訳ではないが保護者の意向でやめているケースもあります。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例集の作成ができ、積極的に活用して、報告が上がった際は全員で回覧および打ち合わせでの情報共有を行っています。 また、ファイルに閉じ、いつでも見られるようにしています。		事故を未然に防ぐために、今後も積極的に活用していきます。